

1年 国語 週4時間

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。

(1) 知識及び技能に関する目標

- 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関すること等の「知識及び技能」を社会生活における様々な場面で主体的に活用できる能力を身に付ける。

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する目標

- 互いの立場や考えを尊重し、言葉を通して正確に理解したり適切に表現したりする力を高めること。
- 筋道を立てて思考する力や豊かに想像する力を身に付ける。

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する目標

- 言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること、言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりして心が豊かになること、言葉を通じて人や社会と関わり自他の存在について理解を深めることを、言葉の価値として認識できる能力を身に付けさせる。
- 相手、目的や意図、場面や状況に応じて適切な言葉を取捨選択し、文章の中で言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えることができる能力を身に付けさせる。

2 年間学習計画と単元(題材)

学期	月	単元名・教材名	内容	達成目標(ねらい)
1 学 期	4	1 豊かに想像する ・朝のリレー ・竜	・詩の内容理解と鑑賞 ・登場人物の心情の変化を捉える。	・表現に着目しながら音読し、詩に込められたものの見方や考え方を捉えることができる。 ・擬態語などの表現の工夫を理解できる。 ・描写をもとに登場人物の心情の変化を捉えることができる。 ・楷書の点画の筆遣いを確かめて書く。
		・グループディスカッション ・言葉発見① ・漢字を身につけよう① ・書写	・合意形成に向けての話し合い ・日本語の文節や五十音図の仕組み ・常用漢字の読み書き ・筆記用具の持ち方 ・楷書	・話題にそって話し合いをつなぐための方法を理解し、議論や討論に活用することができる。 ・音声の仕組みと働きについて理解できる。 ・常用漢字の読み方が理解できる。 ・筆記用具の持ち方や楷書の書き方を理解し、書くことができる。
	6	2 わかりやすく伝える ・ペンギンの防寒着 ・クジラの飲み水 ・漢字のしくみ1 ・レポート	・説明文の基本構造の理解 ・字体、画数、筆順 ・表、グラフ、イラスト等を用い、レポートを書く	・説明的文章の基本構造を理解し、段落相互の関係に着目しながら、文章の内容を捉えることができる。 ・漢字の字体、画数、筆順について理解できる。 ・構成や表現を工夫し、分かりやすいレポートを書くことができる。 ・話し言葉と書き言葉について理解できる。
		・言葉発見② ・漢字を身につけよう② ・書写	・話し言葉と書き言葉 ・常用漢字の読み書き ・筆順	・話し言葉と書き言葉について理解できる。 ・常用漢字の読み方が理解できる。 ・筆順の意義を理解し、意識して書くことができる。
3 ものの見方・感性を養う ・空中ブランコ乗りのキキ ・文法の窓1 ・字のない葉書 ・漢字のしくみ2 ・随筆 ・私の読書体験 ・漢字を身につけよう③ ・書写		・登場人物の相互関係に着目し、内容を捉える。 ・言葉の単位、文節 ・登場人物の行動描写に着目し、内容を捉える。 ・漢字の部首と成りたち ・日常の体験の中から題材を決め、随筆を書く。 ・読書の面白さを知る ・常用漢字の読み書き ・仮名	・登場人物の相互関係に着目しながら内容を読み取り、登場人物の言動について自分の考えをもつことができる。 ・言葉の単位、文節の関係について理解できる。 ・登場人物の行動描写に着目して読み、登場人物の人物像や心情の変化を捉えることができる。 ・漢字の部首と漢字の成り立ちについて理解できる。 ・日常生活の中から題材を決め、表現を工夫して随筆を書くことができる。 ・交流を通し、表現の良い点や改善点を見つけることができる。 ・進んで読書に親しみ、読書を通して学んだことを実生活に生かすことができる。 ・常用漢字の読み方が理解できる。 ・平仮名の特徴を理解し、意識して書くことができる。	

3 学期	9	4 論理的に考える ・玄関扉 ・言葉発見3 ・スピーチ	・文章の構成に着目して内容を捉える。 ・指示語と接続語 ・スピーチ発表会	・事実と筆者の考えを読み分け、文章の要旨を捉えることができる。 ・指示する語句と接続する語句の役割を理解できる。 ・話す速度や声量、間の取り方を意識して話すことができる。 ・話し手が話しやすい環境(相づちやうなずき等)を整えながら聞くことができる。 ・常用漢字の読み方が理解できる。	
		・漢字を身につけよう④ ・書写	・常用漢字の読み書き ・漢字と仮名	・漢字と仮名を交えて書く方法について理解して書くことができる。	
	10	5 古典に学ぶ ・月を思う心 ・竹取物語	・古典の世界を知る。	・古典の世界への理解を深め、古典学習への意欲を高めることができる。 ・古文の仮名遣いやリズムに留意して音読できる。 ・現代との繋がりを考えながら読むことができる。	
		・表現プラザ	・音読 ・古文の内容理解 ・変わり身の上話を書き発表する。	・なり変わったものの特徴が表れるよう表現を工夫し、書くことができる。	
		・故事成語	・音読 ・「矛盾」の内容理解	・漢文の読み方や訓読の仕方を理解し、音読できる。 ・現代にも受け継がれる故事成語の由来について理解できる。	
		・漢字のしくみ3	・漢字の音と訓	・漢字の音と訓について理解できる。	
		・漢字を身につけよう⑤ ・書写	・常用漢字の読み書き ・漢字と仮名	・常用漢字の読み方が理解できる。 ・漢字仮名交じりの特徴を理解し、調和のとれた文を書くことができる。	
		11	5 情報を関連付ける ・複数の情報を関連付けて考えをまとめる ・学校案内リーフレット	・複数の資料を関連付けて読む。 ・構成や表現を工夫し学校案内リーフレットを作成する。	・複数の資料を関連付けて読み筆者の意見を捉え、理解した内容をもとに話し合いをし、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・目的に応じ、構成や表現を工夫し、分かりやすい学校案内リーフレットを作成することができる。
	・文法の窓2 ・漢字を身につけよう⑥ ・書写		・単語の類別、品詞 ・常用漢字の読み書き ・漢字と仮名	・品詞とその働きについて理解できる。 ・常用漢字の読み方が理解できる。 ・学習した技能を活用し、手紙を書くことができる。	
	12		7 読みを深め合う ・それだけでいい ・言葉発見④	・詩の内容理解と鑑賞 ・比喩、反復、倒置、体言止め ・表現を工夫し、詩を書く。	・詩の表現技法を理解する。 ・詩の中の言葉の意味を的確に捉えて、内容を理解できる。 ・表現技法を理解し、活用できる。
			・詩 ・トロッコ ・読書活動 ・漢字を身につけよう⑦ ・書写	・人物の言動や情景描写に着目して内容を捉える。 ・グループで1冊の本を読む。 ・常用漢字の読み書き ・書き初めの練習	・表現技法を活用するなど、自分の感じたことが効果的に伝わるように表現を工夫し、詩を書くことができる。 ・人物の言動や情景描写に着目し、登場人物の心情の変化や場面の展開を捉えることができる。 ・進んで読書に親しみ、思ったことや感じたことをグループで交流することができる。 ・常用漢字の読み方が理解できる。 ・書き初めがもつ意義を理解し、既習事項を活用しながら書くことができる。
	1	8 視野を広げる ・意味と意図 ・言葉発見5 ・意見文	・文章を要約し、内容を捉える。 ・方言と共通語 ・意見文発表会	・必要な情報に着目し、文章を要約して内容を捉えることができる。 ・共通語と方言の果たす役割について理解できる。 ・自分の考えや意見を分かりやすく発表できる。 ・相手の意見発表を聞き、自分の考えを深めたり広げたりできる。	
・漢字を身につけよう⑧ ・書写		・常用漢字の読み書き ・行書	・常用漢字の読み方を理解できる。 ・行書の基本的な書き方を理解し、書くことができる。		

2	9 振り返って見つめる ・少年の日の思い出	・語り手や登場人物の視点に着目して読み作品の主題を捉える。	・場面展開や人物描写に着目して読み、作品の主題を捉えることができる。 ・過去を回想する構成や語り手の視点を捉えることができる。
	・漢字を身につけよう⑨	・常用漢字の読み書き	・常用漢字の読みについて理解できる。
3	・グループ新聞	・4、5人のグループで新聞を作成する。	・編集会議で情報を整理し、読みやすい新聞を作成することができる。
	・書写	・1年間のまとめ	・1年間の学習で学んだことを生かして作品を創ることができる。

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の大体を読むことができる。 ・表現するのに必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・敬語など、相手や場に応じた正しい言葉遣いをすることができる。 ・情報の信頼性を確かめ活用することができる。 ・古典の世界に親しむことができる。 ・書写で学習したことを生活に生かすことができる。 ・読書の意義と効用について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・漢字テスト ・小テスト ・ワークシート ・書写の作品 ・読書記録
思考力・判断力 ・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から話題を決め、表現を工夫して分かりやすく話すことができる。 ・必要に応じて記録したり質問したりしながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・構成や表現の仕方を工夫して、根拠を明確にしながら文章を書くことができる。 ・文章を要約したり関連付けたりしながら読み、内容を捉えることができる。 ・文章絵を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート ・ワークシート ・スピーチ ・聞き取りメモ ・作文等
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動に意欲的に参加し、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・学習したことを積極的に生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・交流メモ等 ・ノート

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・発問に対しては、自分の頭で考え、友達との交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしましょう。
- 友達の意見や考えを通して気付いたことを、ワークシートやノートに色ペンで書くなどして、自分の思考の変容が分かるようにすると効果的です。
- ・黒板に書かれたことは、きちんとノートに書きましょう。
- ・友達の意見や先生の説明を聞いて、メモをとる習慣を身に付けましょう。
- ・宿題や提出物は、期限を守って提出しましょう。
- ・毎時間の授業の振り返りを行う際、次の授業における目標を自分で決めるようにしましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・定期的に漢字テストを実施します。範囲も事前に示されているので、満点をとれるよう毎日練習しましょう。
- ・復習も大切ですが、予習をしてから授業に臨むようにしましょう。次の時間で学習する範囲を読み、ワークをやっておくと授業内容がスムーズに頭に入ります。
- ・読書の習慣を身に付けましょう。

6 定期テスト前の取組についてのアドバイス

- ・教科書、ノートを見直し、どの授業で何を学んだのかを振り返りましょう。
- ・漢字の練習や文法の練習問題等、繰り返し何度も練習しましょう。
- ・教科書ワークの問題を見直しおきましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・漢字や文法の練習問題は、完璧に覚えるまで、繰り返し練習することが大切です。
- ・教科書に傍線を引いたところは、重要な箇所です。ノートと照らし合わせながら、よく見直しおきましょう。